

1 日時：令和2年2月15日（土）14時～15時30分

2 会場：三国丘高等学校 校長室

3 出席者：

[委員] 田中満公子委員、今西邦夫委員、井上博史委員、中西康之委員、西端律子委員
(坂部弘重委員 欠席)

[学校側] 濱崎年久校長、高崎克司教頭、三木敬之事務部長、
田中和代首席、恩智理指導教諭、駒井泰之教諭、吉田まちの教諭、
稲木悠一教諭、中津佳人教諭、松井千枝教諭

4 次第

①校長挨拶

②議事

(1) 令和元（平成31）年度学校評価について（報告）

資料：令和元年度 学校経営計画及び学校評価

【委員】 学年別の遅刻回数は？

【学校】 2年生は例年よりも増えている。配慮を要する生徒には昼からでも登校するように指導しているためです。

【学校】 1年生は平年並みです。

【学校】 3年生は前年度が少なかったこともあり、今年度は増加しています。センター試験前後で、気持ちを崩した生徒の遅刻もあります。

【委員】 3年生は、そういったイベントの後ならば仕方ない部分もある。2年生は慣れてきているという点があるのではないか。

・学校教育自己診断集計結果分析について（報告）

【委員】 授業内でのスマートフォンは怎么样了なっているか？

【学校】 一人一人にパソコンがないので授業でも活用しています。英語の授業では、プレゼンテーションのアプリを活用しています。授業中に私用で見ているという事はありません。

【委員】 スマホ決済が始まってから、スマホの使用に拍車がかかっているのでは？

【学校】 当校では、授業中に生徒が勝手に使用することはありませんが、授業外でのスマートフォンの使用が拡大しているので気になっています。

【委員】 土曜授業に対して、先生方の働き方改革は怎么样了なっているのか。土曜授業は推奨するのか。

【学校】 土曜授業の分の振替休は取ってもらっています。

【委員】 スマートフォンの使用について、学校での使用制限は怎么样了なっているのか。

【学校】 使用制限はしていません。

【委員】 休み時間も使用しているのか。様々な指導方法がある。コミュニケーション能力の低下などを危惧して学校内でのスマートフォンの使用を制限しているところもある。三国丘ではどのような現状なのか。

【学校】 休み時間は、生徒は移動や早弁をしたり友達とゲームをしたり様々なことをしています。

【委員】 ICTの活用をしているが、その先のイメージを教えて欲しい。

【学校】 今は科学の授業では、前で動画を見せたりしています。貴重な動画もあるため Youtubeなども活用して

います。授業では匂いなど、実体験を中心にしていくようになるのではと思います。

【委員】教科によって目的が変わるのではないか。古典の授業では、本文をプロジェクターで黒板写し、授業を効率化しているのを見た。

【委員】学習塾でも ICT を活用している。生徒に画像を見せて印象付けることもできる。

【学校】最近は大阪府でギガスクールについて議論されています。学校内に Wi-Fi スポットを置き、授業で活用できるようになります。社会の授業では、ネットを使ってクイズを使っています。教材作成が大変なことは懸案事項であるが、生徒も楽しんで取り組んでおり、新しい活動の一つとして良いと思います。

・学年等の取り組みについて（報告）各学年主任

（ア）3年

【委員】推薦入試合格率はどうなっているのか。

【学校】ほぼ例年通りです。

【委員】推薦を受けた生徒は推薦だけに絞っていたのか。

【学校】生徒は推薦だけに絞っている訳ではなく、第一志望のチャンスを増やすために推薦を受けています。

（イ）2年

【委員】入試の変更は英語だけではないのか？

【学校】1月の最終発表によると、英語の民間試験の活用は廃止、数学の試験時間の変更は継続、英語もリスニングと筆記の配点の変更は継続になりました。

（ウ）1年

とくに質疑なし

・SSH・SGPの各取組みについて（報告）

SSH

【委員】生徒はSSHのテーマをどうやって決めるのか。

【学校】4月から始まり、6月をめどに最初にテーマを決めます。

【委員】分野は自分の意志で決めているのか。

【学校】希望調査をもとに、3番目の希望の中には入るようにしています。

【委員】週に何時間あるのか。

【学校】週に1時間火曜日の6限に組んでいます。その日は終礼を行わないので、そのまま継続して取り組みます。

【委員】アドバイスは与えられているのか。考える指針を紹介してあげるのはどうか。参考図書を紹介するなど考えられる。

【学校】決まらない班にはアドバイスし、考え方の指針を一年生の内に教えています。分野に分かれてからは、テーマを提示するなどはあまり行っていません。テーマ決めは毎年苦勞しています。

【委員】素朴に疑問に思うことを話し合わせるなど、精力的に取り組めるように工夫していくべきと思う。一時間で課題を決めていくのは難しいだろう。

【委員】PeriPeriのように高校生だからこそ出てくる発想がある。教科書の内容だけではなく、素朴な疑問を促せるようにしたらいいのではないか。

【委員】過去の研究からの展開はなかったのか。

【学校】先輩の研究を見せることもあるが、三国の生徒には引き継がずに新しい課題に取り組みたがる傾向があ

ります。基本的に自由にテーマを考えさせる方針にしています。ただ、自分が疑問に思ったことを書いてくるという宿題をさせており、課題で困った時にそれを参考にすることができるようにしています。

【委員】面白いテーマが集まっている。良いテーマが出てきたときにそのテーマに関してどのようにフォローしているのか。

【学校】三年生のCSⅢで取り組ませて、そこでフォローしています。

【委員】三国が今行っている方針が良いと思う。

【学校】自由度と質の関係が難しいです。

【委員】今まで通り、自由度と質の関係を考えながら行ってほしい。

SGP とくに質疑なし

(2) 令和2年度学校経営計画について

【委員】入学時点で、英検取得者の数はどうなっているのか。

【学校】英検の準2級は持っているが、2級を持っている人は多数ではありません。今まで取って来た数値は、GTECなどの外部試験の保有条件と合わせるために、英検も今年一年間で取得した生徒の数値のみを集計していたので、生徒がすでに取得しているものも含めると、数値がどうかは分かりません。GLHSの指針を活用したいと考えています。

【委員】4. ⑤教育活動や学校運営の保護者に対する発信はどうしていく方針なのか。

【学校】個人情報を守りつつ、ホームページを活用していきたい。

【委員】保護者からの数値が低いのは情報が入ってこないのが問題なのか？理由をはっきりさせて対応を考えていく必要があるのではないかな。

【委員】三丘セミナーの仕組みはどのようになっていますか？

【学校】生徒は希望で選択して、受講しています。

【委員】一講座に対する人数はどのくらいなのか。

【学校】十数講座あり、大体一講座40名程度です。生徒の意見は反映されています。

【委員】評価指標について、評価指標の目標を達成している点は、三年間の指標を見て指標を挙げることを要求されるのではないかな。その点も検討してほしい。

全日制課程 令和元（平成31）年度学校評価
令和2年度学校経営計画 承認

(3) 定時制課程 令和元（平成31）年度学校評価
令和2年度学校経営計画 承認

【学校】全日制と定時制が協力して行うべきことが増えており、連携しながら運営していく必要性を感じています。

(4) まとめ

【委員】ギガスクールについて、今後の指針を迫られている。学校で提供するのか、個人の端末を持ってこさせるのか。後はマルチプルインテリジェンスについて、良いところと、悪いところを知って使ってほしい。まだ発掘されていない、生徒の新しい個性の発揮を促せるかもしれないので、状況に合わせ、それ以外の方法でチームを組むことも念頭に置いてほしい。

【委員】 このまま頑張っていたきたい。

【委員】 高校生が短期間で達成している成果を肌で実感させてもらって、良い経験になりました。

【委員】 SGP も含めて明るい話題が多いが、不登校やハラスメントといった点にも目を向けておいてほしい。

【委員】 素晴らしい取り組みばかりである。そんな時こそ、授業力を向上させてほしい。三国丘はネットワークもあるし、様々な力を上手く使いながら授業力を高める工夫をしていって欲しい。